

ROLL ROLL ROLLING

ロール・ロール・ローリング

原作 重松清
一せんせい。-「白髪のニール」(新潮社)より
脚本 いずみ凜
演出 中島研
音楽 曲尾友克
制作 西川典之



「えっ！富田先生がギター?!」ある日、物理の富田先生が突然声をかけてきた。
「一曲でええんよ。わしにギターを教えてくれんか。」半ば強引に始まった高校2年の夏。

富田先生は俺たちに語りかける。

「ロックは始めることで、ロールはつづけることよ。

ロックは文句をたれることで、ロールは自分のたれた文句に責任を取ることよ。

ロックは目の前の壁を壊すことで、ロールは向かい風に立ち向かうことなんよ。」

劇団風の子中部が**高学年作品**に初めて挑みます。

今を生きる中学生・高校生たちに送る「**君たちはどう生きるのか**」のメッセージ